

東タク防犯会報

東京タクシー防犯協力会
第281号 平成30年7月31日
東タク協内TEL03（3264）8080(代)

事案情報

詐欺行為と疑われる事案の発生について

このたび、会員事業者より詐欺行為が疑われる事案が寄せられました。同様の事案は、昨年度中に5件の情報が寄せられており、今後も同種被害が発生するおそれもありますので、下記記載の同種事案の対策について徹底を図られるようお願いいたします。

人物の特徴

男性1名・年齢20代前半くらい・短髪・あごひげ

事案の概要

発生日時	平成30年7月28日・午後9時30分頃
概要	<p>男は板橋本町駅前から乗車。 乗務員がドアを閉めたところ、男はドアに手を挟み、手に持っていた眼鏡が壊れた、どう責任を取るのかと言った。 乗務員は謝罪した上で、会社に連絡して対応を仰いだところ、会社からは警察に連絡するよう指示があり、その旨を伝えたところ、男は怒り出し、「このあと2億の商談がある」、「商談に失敗したら、どう責任を取るのか」等と乗務員に迫った。 乗務員は、さらに謝罪した上で警察に連絡する旨を告げると、男は怒りながらも降りて行った。 (乗務員は男が降車する際、会社の名刺の裏に名前を書き、手渡した。 その後、110番通報し、警察に経緯を説明。)</p>

同種事案の対策

- ドアを閉める際は、後部座席を振り返り、必ず乗客に一声かけてから閉める。
(※ 手足を故意に車外に出されないよう十分注意)
- 車内事故として会社・協同組合等に連絡した上で対応することになっている旨を告げ、名刺等を相手に手渡し、相手の連絡先を尋ねるなどして、その場では絶対に金銭を支払わない。
- 遲迫的な言動があった場合は、防犯灯を点滅させ、「警察に連絡する」旨を告げ、110番通報する。